

千葉市SDGs債（2024年度発行分） 資金充当状況/インパクトレポーティング

2025年7月



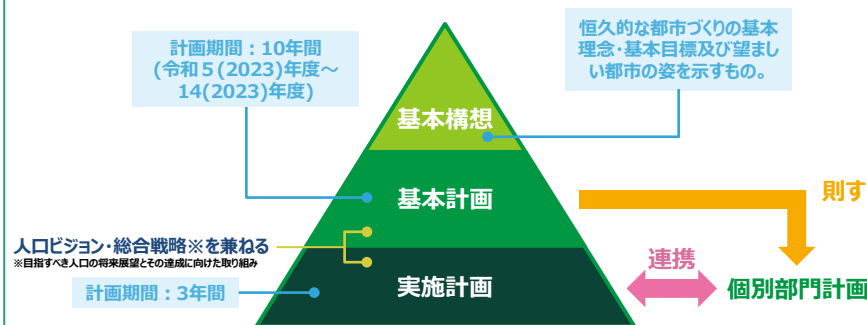
千葉市のSDGs達成に向けた取組み

- 令和5年4月に、**千葉市基本計画**がスタートしました。
- SDGsの「**誰一人取り残さない**」といった視点等を踏まえ、10年間のまちづくりの方向性や分野目標を定めています。

千葉市基本計画の概要

1 計画体系・計画期間

- ・ 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されています。
- ・ 基本計画は、基本構想の実現に向け、**まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示するもの**です。
- ・ 市政の特定課題等に対応するために、各部門が定める個別部門計画と連携しています。
- ・ 基本計画の計画期間は、令和5年（2023年）4月1日から令和15年（2033年）3月31日までの10年間です。



2 取組方針

- ・ SDGsの達成など将来を見据えた本市の10年後の姿を「**みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市**」と定め、新たな価値が生まれ、一人ひとりが個性を活かし自分らしく活躍できるまちの実現を目指します。
- ・ 分野横断的かつ重点的に取り組むべき戦略的視点を踏まえ、各分野で市民や団体、企業、大学、行政などが連携し、「みんな」でまちづくりを進めていきます。

「4つの戦略的視点」

- 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり
- ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり
- 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり
- 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

「まちづくりを進める力」

市民をはじめとした多様な主体の一層の連携と公共私役割分担の見直しにより、多様な主体がまちづくりに挑戦



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

まちづくりの基本方針に沿って、8つの分野で分野間の連携を図りながらまちづくりを推進します。



- 令和5年6月に、本市におけるSDGs債のルールを定めたフレームワークを策定しました。（令和6年7月更新）
- 第三者評価機関の(株)日本格付研究所より、**最上位評価のSU1(F),Blue1(F)を取得**しています。

千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク（R6.7公表版）の概要

1 適合性確認対象の原則等

- ・ グリーンボンド原則2021(ICMA)
- ・ ソーシャルボンド原則2023(ICMA)
- ・ サステナビリティボンドガイドライン2021(ICMA)
- ・ グリーンボンドガイドライン2022年版(環境省)
- ・ ソーシャルボンドガイドライン2021年10月(金融庁)
- ・ Guidelines for Blue Finance 2022年1月(IFC)
- ・ A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy (2023年9月) (SBEガイド) (ICMA/IFC/UNEP FI (国連環境計画・金融イニシアティブ) /UN Global Compact (国連グローバルコンパクト) /ADB (アジア開発銀行))

3 資金管理

- ・ 調達資金は原則、当該年度中に適格プロジェクトに充当されます。
- ・ 調達額が適格プロジェクトに係る資金充当の合計額を超過しないよう適切に管理します。
- ・ 未充当資金が発生した場合には、充当されるまでの間、現金または安全性の高い金融資産で運用します。

2 プロジェクトの評価及び選定プロセス

- ・ 財政局財政部資金課が各部局にヒアリングを実施し、環境面及び社会面において便益が見込まれるプロジェクトを抽出し、当該プロジェクトによるリスクを特定した上で、その対処法についても確認して選定します。

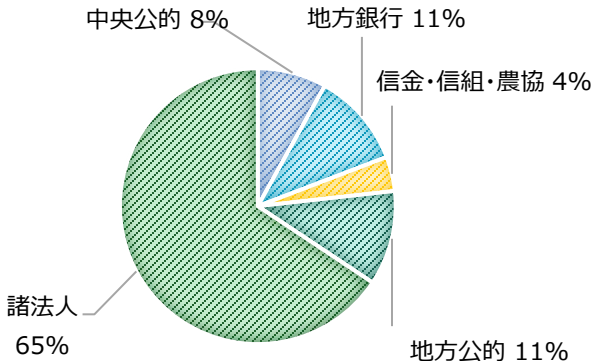
4 レポーティング

- ・ 充当金額等を記載した資金充当状況レポーティング、プロジェクトの実施による成果等を記載したインパクトレポーティングについては、発行の翌年度に開示します。
- ・ 当初の想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド） 発行概要/投資表明投資家

- 令和6年8月に、千葉県内の自治体で初めてグリーンボンドを発行しました。
- 発行額50億円に対し**53.4億円(約1.1倍)**の需要が寄せられ、**26件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	50億円
応募額	53.4億円
利率	0.913%
条件決定日	令和6年8月9日（金）
発行日	令和6年8月27日（火）
引受会社	大和証券（事務）、SMBC日興証券
購入対象	機関投資家向け
投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)	 中央公的 8% 地方銀行 11% 信金・信組・農協 4% 諸法人 65% 地方公的 11%

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧（敬称略・50音順）

1	いちい信用金庫
2	株式会社ウチダ
3	大阪信用保証協会
4	一般財団法人簡易保険加入者協会
5	株式会社キーベックス
6	社会福祉法人 蛸雪学園
7	株式会社京葉銀行
8	佐倉市
9	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
10	住宅金融支援機構
11	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター
12	株式会社 スタジオ柴
13	社会福祉法人 生活クラブ
14	一般財団法人 製品安全協会
15	株式会社 第四北越銀行
16	株式会社千葉銀行
17	千葉県信用保証協会
18	千葉テレビ放送株式会社
19	有限会社 とりせん商事
20	日本コープ共済生活協同組合連合会
21	株式会社日本貿易保険
22	万葉建設株式会社
23	学校法人 美鈴学園 八幡台幼稚園
24	株式会社 メディクロス
25	医療法人 鎗田病院
26	株式会社 ライト建設

千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド） 資金充当状況/インパクトレポーティング概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献するSDGs	充当額(百万円)		環境改善効果、社会的便益等
			新規分	借換分	
(グリーン適格プロジェクト) 汚染の防止と管理	新清掃工場整備事業	 	4,074	0	・整備内容 工場棟の建築及び焼却炉等工場設備の設置 ・運用開始予定時期 令和8年度 ・エネルギー回収率 24.4% ・運用開始により見込まれる発電量 95,000MWh/年
(グリーン適格プロジェクト) 汚染の防止と管理	北清掃工場整備事業	 	592	0	・整備内容 灰出しコンベア等の整備を実施 ・発電効率 13.90% ・令和6年度発電量（実績）45,104MWh/年
(グリーン適格プロジェクト) クリーン輸送	自転車走行環境の整備事業		8	0	市道高浜3号線の自転車レーン1,968mの整備を実施 令和6年度自転車レーン整備総延長 2,598m
(グリーン適格プロジェクト) 気候変動への適応	河川管理事業（浚渫工事）	 	326	0	二級河川坂月川の990mの浚渫工事を実施 準用河川生実川の80mの浚渫工事を実施 高田排水路の326mの浚渫工事を実施 川底に堆積した2,240㎡の土砂を除去
合計			5,000	0	グリーン適格プロジェクト 5,000百万円 未充当額 0百万円

千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド） 資金使途事業（1 / 2）

新清掃工場整備関連事業



- 千葉市ではこれまで3つの清掃工場で市内のごみ処理を行ってきましたが、そのうち北谷津清掃工場が、運用開始後 38 年目を迎え老朽化が進行していることから、「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、平成 28 年度末で廃止とし、運用する清掃工場を 2 清掃工場（新港清掃工場、北清掃工場）体制とすることで、効率的なごみ処理を行うとともに、北谷津清掃工場跡地を活用した施設整備を行うこととしました。
- 日々発生する一般廃棄物を衛生的かつ効率的に処理できるよう必要な施設体系を整え、長期間安定的に運用でき、循環型・脱炭素社会に寄与する、維持管理や収集運搬も考慮した、経済性の高い施設の整備を目指します。
- 令和4年11月から、北谷津清掃工場跡地を活用した新清掃工場建設工事を開始しており、令和6年度においては、工場棟の建築及び焼却炉等工場設備の設置を実施しました。

- ✓ 運用開始予定時期…令和8年度
- ✓ エネルギー回収率…24.4%
- ✓ 運用開始により見込まれる発電量…95,000MWh/年

発電による効果

95,000MWh/年の発電量は、一般家庭 約24,051世帯分の年間消費電力に相当(※)

▼新清掃工場イメージ



北清掃工場整備関連事業



- 北清掃工場では市内から排出された家庭系・事業系の可燃ごみを焼却し、発生した焼却灰は最終処分場に埋め立て処分されます。
- ごみを燃やした時に発生する熱エネルギーを利用して蒸気を発生させ、蒸気タービン発電機（最大出力8,000kw）を回し発電することにより、場内の全電力を賄う他に、隣接の余熱利用施設（こてはし温水プール・花見川いきいきプラザ）への電力・蒸気の供給や、電気自動車急速充電設備への電力の供給、余った電力の電力会社への販売も行っています。
- 千葉市では、将来にわたり安定的且つ的確にごみ処理を行っていくため、「千葉市一般廃棄物処理施設基本計画」を作成しており、その中で、北清掃工場については、基幹整備をした上で令和12年度末まで使用を続ける方針を定めています。本事業は、北清掃工場が前述の計画通りに稼働を続けていくために必要な事業です。
- 令和6年度は灰出しコンベア等の整備を実施しました。いずれも耐用年数超過や、老朽化等の理由により、更新または修繕を実施するものです。

- ✓ 発電効率…13.90%
- ✓ 令和6年度発電量（実績）…45,104MWh/年

発電による効果

45,104MWh/年の発電量は、一般家庭 約11,419世帯分の年間消費電力に相当(※)

▼灰出しコンベアの整備



▼焼却炉の耐火物の整備



※一般家庭1世帯における年間消費電力を3,950kWhと仮定（出典：環境省「令和4年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査 資料編（確報値）」図1-72～1-75（p.41～42））

千葉市令和6年度第4回公募公債（グリーンボンド） 資金使途事業（2 / 2）

自転車走行環境の整備



- 千葉市では、自転車が安全で快適に車道を通行できるよう、平成25年8月に「ちばチャリ・すいすいプラン」を策定（令和元年第2期改定）し、自転車走行環境の整備を進めており、これまで自転車の車道走行が原則であることの周知を優先し、早期に広範囲に整備するため、現道内で工事が可能な「車道混在（矢羽根の路面標示）」を中心に令和5年度末までに約86kmの整備を行いました。
 - 令和6年7月、第3期の改定を行い、歩道上の安全性の向上と車道を通行できる環境の創出を図ることや、さらなる自転車の利用促進を目的に、「自転車レーン」を中心とした整備を行っていくこととしました。
 - 本計画では、アクセスルート、サイクリングコース及び道路の新設・改良路線やミッシングリンクの解消路線等を整備し、市内に約484kmの安全で快適な自転車ネットワークの構築を目指します。
 - なお、本事業は地球温暖化対策実行計画における柱の一つである「モビリティのゼロ・エミッション化」に貢献するものであり、グリーンで快適な交通環境の実現に寄与するものです。
- ✓ 市道高浜 3 号線の自転車レーン1,968mの整備を実施
 - ✓ 令和6年度の自転車レーン整備総延長2,598m

▼高浜 3 号線
（整備前）



▼高浜 3 号線
（整備後）



河川管理事業（浚渫工事）



- 千葉市内の河川は、後背地に水源となる山地がないため、湧水と生活排水を水源とし、多くの河川が海拔10~20m程の低地の谷津を流れ、川幅が狭く、自己水量も乏しいことが特徴です。
 - 内陸部の急激な都市化に伴い、自然の持つ保水機能や流量調節機能が著しく低下しています。そのため、集中豪雨などに対する治水安全度も相対的に弱まり、河川沿川地域では浸水や冠水のおそれがあります。水害を未然に防ぎ、あわせて市民の憩いの場となるような水辺を再生するため、これまでに各種の河川改修事業が行われてきました。
 - 千葉市が管理している二級河川の坂月川や準用河川の生実川等にて、川底に堆積した土砂を取り去る浚渫（しゅんせつ）工事を実施しました。河川の有する流下能力が確保され、適正な維持管理が行われています。
- ✓ 二級河川坂月川の990mの浚渫工事を実施
 - ✓ 準用河川生実川の80mの浚渫工事を実施
 - ✓ 高田排水路の326mの浚渫工事を実施
 - ✓ 上記3事業における川底に堆積した2,240㎡の土砂を除去

▼生実川（施工前）



▼生実川（施工後）



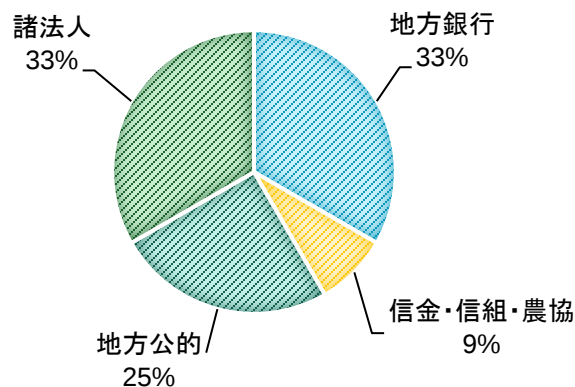
千葉市令和6年度第7回公募公債（ブルーボンド） 発行概要/投資表明投資家

- 令和6年12月に、昨年度に続き2度目となる、調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当されるブルーボンドを発行しました。
- 当初発行額30億円に対し約1.4倍の需要が寄せられ、投資家の皆様の需要にお応えするため発行額を35億円に増額しました。結果、**43.2億円(約1.2倍)**の需要が寄せられ、**12件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和6年度第7回公募公債（ブルーボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	35億円
応募額	43.2億円
利率	1.157%
条件決定日	令和6年12月6日（金）
発行日	令和6年12月25日（水）
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券（事務）、大和証券、SMBC日興証券
購入対象	機関投資家向け

投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧（敬称略・50音順）

1	公益財団法人足立区生涯学習振興公社
2	茨城県信用保証協会
3	株式会社京葉銀行
4	株式会社千葉銀行
5	千葉県信用保証協会
6	株式会社千葉興業銀行
7	千葉青果株式会社
8	千葉テレビ放送株式会社
9	銚子商工信用組合
10	東京信用保証協会
11	日本再共済生活協同組合連合会
12	株式会社山口銀行

千葉市債を応援してくださる投資家様への取り組み

- ・ 地方債市場で唯一の発行となるブルーボンドは、その**希少性**や**グリーンオペの対象**となる商品性を投資家様に好感いただいております
- ・ 令和6年度は、当初30億円の発行を予定しておりましたが、より多くの投資家様の需要にお応えするために**発行額を35億円に増額**しました
- ・ 今後もより多くの投資家様の需要にお応えするため、**千葉市は多種多様な商品を発行**してまいります

千葉市令和6年度第7回公募公債（ブルーボンド） 資金充当状況/インパクトレポーティング概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献するSDGs	充当額(百万円)		整備内容、整備箇所数
			新規分	借換分	
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	管渠改築事業	 	2,395	0	南町地区下水道施設改良工事 検見川地区下水道施設改良工事 こてはし台地区下水道施設改良工事 作草部地区下水道施設改良工事 他57件 総工事延長25.6km
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	ポンプ場改築事業	 	255	0	ひび野ポンプ場外 1 施設改良工事 都ポンプ場耐震補強工事 他5件
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	浄化センター整備事業	 	850	0	南部浄化センター沈砂池機械設備改築工事 南部浄化センター脱水機機械設備改築工事 南部浄化センターA系水処理監視制御設備改築工事 中央浄化センター水処理電気設備改築工事 他14件
合計			3,500	0	ブルー適格プロジェクト 3,500百万円(100%) 未充当額 0百万円

千葉市令和6年度第7回公募公債（ブルーボンド） 資金使途事業

管渠改築事業



- 下水道は、生活排水等の汚水処理による衛生的な生活環境の実現や、海や河川等の公共用水域の水質保全など、私たちの安全・安心で快適な生活に欠かせない重要なライフラインとなっています。
- 千葉市では、令和7年1月時点において約3,800kmの管路施設を管理していますが、老朽化している管渠が存在しており、「千葉市下水道ストックマネジメント計画（第2期）」に基づき、計画的な改築を行っています。また、「千葉市下水道総合地震対策計画」に基づき、下水道管路の耐震化も併せて進めています。
- 令和6年度においては、南町地区下水道施設改良工事、検見川地区下水道施設改良工事、こてはし台地区下水道施設改良工事、作草部地区下水道施設改良工事、他57件の事業を資金使途としました。

▼検見川地区下水道施設改良工事



ポンプ場改築事業



- ポンプ場は、管渠で自然流下できない部分を補うため、ポンプで揚水する機能を有しています。
- 千葉市では、現在148か所のポンプ場が稼働しています。ポンプ場をはじめとする機械電気設備の耐用年数は管渠等の他の下水道インフラと比較して短いことから、「千葉市下水道ストックマネジメント計画（第2期）」に基づき、計画的な維持・修繕及び改築を実施することにより、ポンプ場の適正な機能維持に努めています。
- 令和6年度においては、ひび野ポンプ場外1施設改良工事、都ポンプ場耐震補強工事、他5件の事業を資金使途としました。

▼ひび野ポンプ場外1施設改良工事



浄化センター整備事業



- 浄化センター（処理場）は、管渠施設により集められた下水をきれいな水にするための施設です。
- 千葉市には、中央処理区を受け持つ中央浄化センター、南部処理区を受け持つ南部浄化センター、印旛処理区を受け持つ花見川終末処理場及び花見川第二終末処理場があり、管渠やポンプ場を経由して流入した下水を水質汚濁防止法で定める基準をクリアした状態に処理した上で、東京湾に放流しています。
- 令和6年度においては、南部浄化センター沈砂池機械設備改築工事、南部浄化センター脱水機機械設備改築工事、南部浄化センターA系水処理監視制御設備改築工事、中央浄化センター水処理機械設備改築工事、他14件の事業を資金使途としました。

▼南部浄化センター沈砂池機械設備改築工事





本資料に関するお問い合わせ先

千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL : 043-245-5078

FAX : 043-245-5535

E-MAIL : shikin.FIF@city.chiba.lg.jp
